

公益財団法人信託資本財団 2016年 事業計画

I. 基本方針

1. 当法人設立目的の確認

来年度の事業計画作成にあたり、まずは、当法人の設立目的を確認する。
良好な人間関係や知恵のような目に見えない資産（無形資産）の創出と蓄積に重点を置き、そのような無形資産の創出、蓄積に資する① 地球環境の保全又は自然環境の保護及び整備等の環境の保護、② 児童又は青少年の健全な育成などの教育の充実、③ 障害者若しくは生活困窮者又は事故、災害若しくは犯罪による被害者の支援等の社会福祉の増進、④ 地域社会の健全な発展の促進等の地域振興に、それぞれ寄与することを目的とし、このような無形資産が評価され流通する仕組みを備えた新しい資本制度（信託資本制度）の実現が、当法人の設立目的である。

2. 2020年までの5か年計画

設立目的に基づき、2016年から2020年までの事業5か年計画の目標ならびに推進方策を次のように定める。

2-1. 目標

人が自らの喜びを動機として社会的行動をできるように支援することで、良好な人間関係や知恵のような目に見えない資産（無形資産）の創出や蓄積をはかり、上記①から④の課題解決に寄与する。

2-2. 推進方策

- (1) ①から④の課題解決事業支援のための知見ならびに財産の充実
公益目的事業1、公益目的事業2、公益目的事業3、収益目的事業1
- (2) 信託資本制度充実のための相互扶助ネットワーク確立
公益目的事業2（重複）、収益目的事業2

II. 事業内容

1. 融資事業（公益目的事業1）

1-1. 財団直接融資：無利子・無担保・無保証・信託責任者3名

【目標実施件数】

- (1) 通常融資：2件
- (2) つなぎ融資（国または地方公共団体ないしそれに準じる組織から直接補助金、助成金等の交付を受けるまでの資金）：2件

【募集回数】

(1) 通常融資：

募集	前期（第15期）	後期（第16期）
申込受付期間	1月6日(水)～3月25日(金)	8月1日(月)～9月30日(金)
郵送書類の〆切	3月31日(木)【必着】	10月3日(月)【必着】
融資審査会	2016年6月中旬	2016年12月中旬
融資実行	2016年6月下旬以降	2016年12月下旬以降

(2) つなぎ融資：常時募集

1-2. ソーシャルビジネス共感融資（京都信用金庫協働融資）：

融資は無利子・無担保で京都信用金庫が実施、財団は一次審査を担当、利息相当額を当法人が助成するための信託責任者3名

【目標実施件数】 1件

【募集】 常時募集

2. 知恵・知見の蓄積事業（公益目的事業2）

信託が資本となる相互扶助社会実現のため、以下を通して無形価値の相互扶助ネットワーク構築を行う。

2-1. データの蓄積と整備

これまで共感融資・共感助成事業を通じて蓄積した社会的事業に関する知恵・知見について昨年度より登録者へのヒアリングを継続しているが、これを上半期に終了し、活用可能なデータを整理・整備する。

2-2. データの活用

知恵知見登録者を紹介する web ページを作成し、知恵・知見を一般に公開する。社会的事業に関心を持つ人、既に事業者となっている人の相談事項や手伝ってほしいことなどを受け付け、これを活用できるよう Web 上の公開ができることを中心に行う。

3. 助成事業（公益目的事業3）

3-1. 共感助成

2015 年下期より行う Web ページのリニューアルに合わせて各団体の紹介ページのレイアウトの見直しを行うことで各団体の活動紹介を充実化、また定期的な活動状況の更新を行うことで、助成サイトの流入を増加させ、オンラインからの寄付獲得金額増加を目標とする。

【目標寄付金額】1 億 4000 万円

【目標助成金額】1 億 3500 万円

【手数料収入目標】5～10%（500 万円）

3-2. 基金設立

設立目的に該当する公的課題解決のための基金を設立し、更に実効的な助成を行えるようにすると共に、財団基盤安定化のための基金も設立して継続的な支援を実施していく。

【目標寄付金額】2000 万円

【運営費収入】60 万円

【費用】5 万円（説明資料作成費として）

4. 社会デザイン事業（収益事業1）

社会的行動動機による購買を通して、助成先の寄付金増加と財団の収益増加を同時にはかるため、既存助成先と連携するなどして、社会貢献型商品プロデューサー（寄付商品の製作・認定・販売事業）を行う。

【売上目標】 200 万円

【費用】 200 万円（商品開発・広報費）

5. 社会企業家育成事業（収益事業2）

5-1. 育成支援イベント

次の社会的事業家育成塾及び社会的事業に関するイベント企画により、財団活動を通じた社会的事業の創出・参画者増加をはかる。

	未来設計 会議	そもそも 談義	シンライノ テーブル	A-KIND 塾	信頼デイ
目的	社会的事業 を担う若手 人材の創出	活動への 共感者獲得	社会的事業 の創出	社会的事業 の創出	活動への 共感者獲得
開催 件数	2回/年	4回/年	1回/月	1回/年 *全9回	1回/年
目標	定員 30 名	定員 30 名 (各回)	3 拠点以上 開催	卒塾生 20 名	定員 100 名

5-2. 会員制度

これまでは活動の財政基盤として会員制度を運営していたが、これを起点として生まれた財団活動への共感者によるコミュニティを拡大・醸成するべく、昨年6月に有料会員制度を廃止した。今後の活動費確保のための取り組みとしては、助成先支援や、財団運営支援の募集に注力する。

またイベント参加者等を対象にオリジナルTシャツを販売または配布することで、主体的で一体感のあるコミュニティを育み、継続的な活動への参画を促す。

【費用】 10 万円(Tシャツ製作代)

5-3. 広報事業

融資・助成先の社会的事業者を中心に紹介し、社会的事業の応援者を増やすインタビュー冊子の作成・販売を行う。これにより、冊子販売額に含まれる寄付収益を獲得すると共に、社会デザイン事業と合わせて財団および助成先への寄付獲得を目指す。

【目標寄付金額】100万

【費用】10万円(インタビュー冊子製作代)

III. 管理部門

1. 業務執行体制

委託運営を受けているコミュニティスペース「風伝館」の運営にあたっては、一部補助として、アルバイト職員の雇用を委託会社に依頼する。

2. 広報体制

昨年に引き続き、web サイトリニューアルやメールマガジンデザインの改善を行う。また今年度より、活動報告書の作成・配布や、地域メディアとの連携体制の構築を試み、活動の周知・理解を広める。

【web サイト閲覧数(PV)目標】1万PV

【メールマガジン配信数目標】2000件

IV. 収支予算書

【添付資料】1:収支予算書